

## 設立 35 周年記念行事 報告

本年度で設立 35 年となり、新横浜プリンスホテルにて記念講演と記念式典の構成で設立 35 周年記念行事を開催しました。長年に渡って ATIS 活動に理解と支援を頂いている特許庁、工業所有権協力センター、日本知的財産協会、金沢工業大学大学院から関係者をお招きして、また過去 5 年間の ATIS 表彰者を招待するとともに、会員 OB も含めて 150 名を超える参加者となりました。

記念講演は、一般財団法人工業所有権協力センター専務理事櫻井孝氏よりテーマ「かつてわが国に存在した軍事関連秘密特許制度とは」と題して行われました。櫻井氏は特許の歴史研究者として長年研究をされており、未発表の内容も含めて、明治 18 年（1885 年）専売特許条例以降のわが国法制度と運用面での変遷について紹介頂きました。

秘密特許は、明治 32 年（1899 年）特許法下で初めて出現し、それ以降、第二次世界大戦終了まで増加していきました。秘密特許廃止の時点までの秘密特許は、J-Plat で 1500 件以上閲覧可能であるとのことでした。この間、閲覧禁止規定や軍事上秘密を要する発明特許に関する要件など運用面での変遷について、多様な切り口で紹介頂き、また軍事上秘密を要する発明に関して陸軍と海軍は頻繁に情報交換、判断伺いなど交流があった証拠があることも紹介頂きました。閲覧可能となったわが国の秘密特許の実例も紹介頂きました。

最後に、現在ほとんどの主要国では秘密特許制度を有していること、また最近報じられた「日本の核技術流出（H27.11.4 毎日新聞）」、「大学の軍事関連研究とその公開（H28.5.27 日経新聞）」等の記事を踏まえて、秘密特許制度検討の要点を提示いただきました。

90 分の講演時間はあっという間に過ぎ、興味が尽きぬ講演でした。



講演後、会場を移して記念式典の開催です。

ATIS 代表幹事倉永の開会挨拶に続いて、特許庁総務部企画調査課長中村敬子様から祝辞、日本知的財産協会前理事長亀井正博様から祝辞を賜りました。ATIS 副代表幹事松村の乾杯でパーティーの始まりです。

多くの来賓の皆様、会員 OB の皆様の参加を頂いたことや会場が立派なことも加わり、笑顔溢れる懇親の輪が沢山開いていました。会場は ATIS 活動を支えている皆様の活力であふれていました。途中で、最近 5 年間で代表幹事を務めた大友と倉永から主な ATIS 活動も紹介しました。

記念パーティーの予定時間はあっという間に過ぎ、ATIS 副代表幹事中村の閉会挨拶で中締めとなりましたが、多くの方々は会場を去りがたい状況が続いていました。お帰りには最近 5 年間の活動をまとめた「ATIS 35 年記念誌」と記念品をお持ち帰り頂き、無事に記念式典は終了しました。



以上